

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回1月の「てがたん」は1月8日(土)で、「冬鳥をみよう」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは1月5日(水)です。よろしくお願いいたします。

12月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→水の館周辺→藤棚周辺→手賀沼遊歩道→鳥の博物館(リース作り)
- 観察日時/天気 2010年12月11日(土) 10:00~12:00/晴れ
- 参加者 33名(一般23名、子ども10名)
- 市民スタッフ 9名(蒲田知子、小泉伸夫、須貝基康、竹本周平、弘貴さと子、古川克彌、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(塩田いづみ、村松和行)

観察記録 - 12月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ、アオサギ/カモ科：カルガモ、コガモ、オナガガモ/タカ科：ミサゴ/クイナ科：オオバン/カモメ科：ユリカモメ、セグロカモメ/ハト科：キジバト/カワセミ科：カワセミ/キツキ科：コゲラ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/モズ科：モズ/ツグミ科：ツグミ/ウグイス科：ウグイス/メジロ科：メジロ/ホオジロ科：アオジ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：コバクチョウ、バリケン、ドバト

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：ベニシジミ、ウラギンシジミ、ウラナミシジミ、ヤマトシジミ、ムラサキシジミ、ヒメアカタテハ、キタテハ、モンシロチョウ/バッタの仲間：コバネイナゴ、ハネナガイナゴ/カマキリの仲間：オオカマキリ(卵のう)、チョウセンカマキリ/カメムシの仲間：ヨコツナサシガメ/甲虫の仲間：ゴミムシ(種不明)/クモの仲間：ジョロウグモ

【花】

キク科：ノボロギク、ハキダメギク、セイトカアワダチソウ、オオシシバリ、ハルノノグシ、オニノグシ、セイヨウタンポポ、ヒメジョオン、ハハコグサ
ハルジオン/シソ科：ホトケノザ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ/アブラナ科：イヌガラシ、タネツケバナ、カタバミ科：カタバミ/
ナデシコ科：コハコベ/ナズナ科：ナズナ/アカバナ科：コマツヨイグサ/クスノキ科：シロダモ/ツバキ科：ツバキ(植栽)

【実・種】

バラ科：トキワサンザシ/モクレン科：ユリノキ/フトモモ科：ブラシノキ/ブナ科：シラカシ、ウバメガシ、マテバシイ/モチノキ科：イヌツグ/ニレ科：ムクノキ/クスノキ科：クスノキ、シロダモ/ミソハギ科：サルスベリ/モクセイ科：ネズミモチ、トウネズミモチ/アケビ科：ムベ/アカネ科：ヘクソカズラ/ミカン科：ユズ/ウルシ科：ハゼ/ヤブコウジ科：マンリョウ、ヤブコウジ/センリョウ科：センリョウ/ツツラフジ科：アオツツラフジ/メギ科：ナンテン/ウリ科：カラスウリ/カキノキ科：カキノキ/キク科：コセンダングサ、アメリカセンダングサ、オオオナモミ/ガガイモ科：ガガイモ

12月の観察アルバム



今回の案内人：保田行弘さん



今回のてがたんのテーマは「冬支度と植物」でした。正月や節分などの年中行事や昔は生活用品の材料として、よく利用されていた植物を中心に観察しました。

特に神社や寺は、縁起木や年中行事に利用される植物を植えることが多く、てがたんコースの香取神社ではサカキやヒサカキ、センリョウ、マンリョウなどを観察しました。



てがたんの下見で観察したキロテントウムシ



モウソウチクは節の突起が1つ（マダケは2つ）



西日本では柏餅を包む葉に使われるサルトリイバラ



アカマツやクロマツは枝の1カ所から針葉が2本でる



冬の鳥の餌になるハゼの実は水分が少なく脂肪分が多い



ヒイラギの葉（右：老樹）

ヒイラギはモクセイ科の常緑樹で若い樹の葉は先端に鋭いトゲがあり、邪鬼を追い払う縁起木として、節分に利用されています。老樹になるとトゲは少なくなり葉が丸くなります。人間と同じ？ですね。



12月の観察コースと見た生き物 100



ムベ

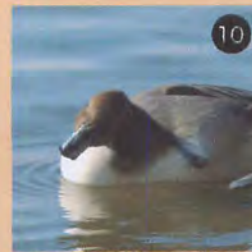


アケビ

ムベはアケビ科のつる植物です。昔、武家では実が開くアケビは切腹を連想させることから、熟しても実が開かないムベが好んで植えられたそうです。他にもムベに関する逸話はたくさんあります。



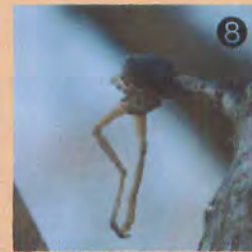
最後はリース作りを楽しみました（参加者の作品）



手賀沼で観察した頭をかくオナガガモ



手賀沼で観察したセグロカモメ



モズのはやにえ（ニホンアマガエル）



松枯れとその原因のマツノザイセンチュウの話（市民スタッフ竹本さん）

*アケビの写真は山と溪谷社「日本の樹木」より引用

松ぼっくりってなんだろう？



今回のリース作りで、たくさん使われた松ぼっくりはマツ科の植物の雌株がつくる球果のことで、球果の中には種子が入っていて（写真1）、種子には翼がついています（写真2）。

球果の大きさは様々で、アカマツやクロマツは大きさ3~8cm程ですが、大きいものは大きさ約30cm重さ1kg以上にもなります。右の写真はアメリカ東海岸原産のオオミマツの球果です（大きさ28cm）。



写真1



写真2

マツの種子



オオミマツとアカマツの球果

てがたんにご参加ありがとうございました。次回の参加もお待ちしております！